

台湾日語教育学報募集要項

98年12月6日第九回第一次會員大會修正通過
99年3月27日第九回第六次理事監事會議修正通過
99年5月01日第九回第七次理事監事會議修正通過
100年3月20日第十回第三次理事監事會議修正通過
100年10月23日第十回第六次理事監事會議修正通過
101年9月9日第十回第九次理事監事會議修正通過
101年12月23日第十一回第一次理事監事會議修正通過
102年10月26日第十一回第五次理事監事會議修正通過
103年3月13日第十二回第二次理事監事會議修正通過
104年10月30日第十二回第五次理事監事會議修正通過
105年12月23日第十三回第一次理事監事會議修正通過
106年3月24日第十三回第二次理事監事會議修正通過
106年10月20日第十三回第四次理事監事會議修正通過
109年10月23日第十四回第九次理事監事會議修正通過
110年3月26日第十五回第二次理事監事會議修正通過
110年5月14日第十五回第三次理事監事會議修正通過
112年3月17日第十六回第二次理事監事會議修正通過
112年10月20日第十六回第五次理事監事會議修正通過
113年3月22日第十六回第六次理事監事會議修正通過

1. 宗旨：台湾の日本語学・文学・文化教育および研究の水準を向上させるため、本学会では毎年6月と12月に『台湾日語教育学報』電子版（以下学報と略称）を発行している。学報は、投稿論文と特別寄稿論文の部分から構成される。
2. 投稿募集領域：(1)日本語教育学理論と実践研究(2)日本語教育学に関連する日本語学、日本文学、日本文化の研究論文。以上の領域に関する未公開未発表の論文は投稿可。なお、修士・博士論文の章節などの部分的な投稿や訳稿は受け付けない。
3. 締め切り期日：3月10日（6月末発行）、8月31日（12月末発行）。共に当日消印有効。
4. 投稿資格：(1)台湾日語教育学会会員（投稿時、すでに当年度の会費を納めている者）。
(2)締め切り期日までに新入会手続きを終えている者。
投稿は原則として一号一篇までとし、未発表の完成原稿に限る。なお、他誌との二重投稿を認めない。
5. 論文査読方法：(1)台湾日語教育学報編集委員会は、日本語教育学、日本語学、文学、文化等投稿募集領域によって(a)投稿者より職階が上位の学者による匿名査読
(b)同校の者は互いに査読不可(c)投稿者が編集委員を担当するのは避ける等を原則として推薦し、決定を下した後、選出された5名の査読者に担当する理事監事が順次論文を郵送する。
(2)論文査読の意見は以下の3種に分けられる。(a)採択(b)修正後の採択
(c)掲載不採択。
(3)投稿された論文の採択の可否は、下記の「台湾日語教育学報論文審査結

果認定一覧表」を参照のこと。もし、第三査読に提出する場合、査読費用としてかかる 1000 台湾ドルを投稿者と学会はそれぞれ 500 台湾ドルを負担するものとする。

(4) 投稿者は、2 名まで論文査読員回避リストを提出できるものとする。

(5) 掲載不掲載に関わらず、原則として投稿された資料は返却せず、原稿費用も支払わない。

6. 投稿資料：(1) 投稿論文の書式に従った原稿（無記名 3 部）

(2) 原稿と同様の内容の電子データ（記名 1 部）

原稿ファイルの書式は Word ファイル および PDF ファイル とし、論文要旨は本文と共に一つのファイルにする。

(3) 論文査読費用は、2000 台湾ドルである。

(4) 投稿者の個人資料表 1 部

(5) 著作権譲渡契約書 1 部

(a) 著作権譲渡契約書がない場合は、掲載しないこと

(b) 著作権譲渡契約書に自筆サインまたは押印をすること

(c) 単一著者、共著者、寄稿者のいずれも著作権譲渡契約書を書くこと

(6) 審査の公平性を確保するために、匿名審査の規則を厳守し、論文に投稿者の身分や所属などの情報を記載してはいけない。投稿者本人が執筆した参考文献を引用する場合、客観的に引用すること。自分自身の論文を引用する場合は、「拙著」「筆者が 2020 年に発表した論文」などの表現を避けて引用すること。

以上の(2)「記名」論文を「《台湾日語教育学報》論文投稿表單」にアップロードする他に、その他の資料は共に締め切り日前までに（当日消印有効）書留郵便で台湾日語教育学会事務局宛に、封筒に「台湾日語教育学報投稿」と明記して郵送すること。投稿論文の書式に従わない場合、資料が揃っていない場合、締め切りを過ぎた場合はこれを受け付けないが、論文査読期間は特別に通知も行わない。

7. 論文様式：（範例を参照のこと）

(1) 使用言語：日本語、中国語（繁體字）。

(2) 原稿の書式：A4 判横書き、30 字×30 行。

(3) 余白設定：上 2.54cm 下 2.54cm 左 3.17cm 右 3.17cm。

(4) 論文テーマ：論文テーマ/上、氏名/中、所属機関と役職名/下、真ん中に寄せる。専任は特に「専任」と明記する必要はないが、非常勤は「非常勤」、大学院生は「修士コース/博士コース」と明記すること。（中国語、英語、日本語の要旨にもそれぞれの言語で論文テーマ/上、氏名/中、所属機関と役職名/下、真ん中に寄せて記載し、論文本文の 1 ページ目にも同じく記載すること。）

(5) 字体とフォント：日本語—論文テーマ（MS Mincho 14）、氏名、所属機関職務名（MS Mincho 12）、本文段落テーマ（MS Mincho 12 太字）、本文（MS Mincho 12）。

中国語—論文テーマ（標楷體 14 粗體）、氏名、所属機関職務名（標楷體 12）、本文段落テーマ（標楷體 12 粗體）、本文（標楷體 12）。

(6) 論文要旨：中国語、英語、日本語（それぞれ 1 ページ 500 字以内にまとめる）5 つ以内のキーワード（中国語版の統一表記は「關鍵詞」である）を記す。中国語、日本語の要旨の形式は、第 5 項に示してある通りである。英語の要旨の形式は、論文テーマ

- (Times New Roman、14Point、Centering、Bold)、氏名、所属機関職務名 (Times New Roman、12Point、Centering)。
- (7) 論文ページ数：要旨および全文（図、表および参考文献、参考資料、附録等を含む）は、30 ページまでとし、ページ数を記すこと。
- (8) 章節番号：アラビア数字 1. 2. 3…を使用すること。（以下 1.1 1.2 1.3…と記す）0 から使用しないこと。
- (9) 脚注の書式：ページ毎に 1. 2. 3…と脚注をつけること。
日本語原稿の脚注は（MS Mincho 10）とし、中国語原稿の脚注は（標楷體 10）とする。
- (10) 参考文献：
- A. 排列形式：
- a. 日本語原稿：日本語（五十音順）、中国語（画数順）、英語（アルファベット順）とする。
- b. 中国語原稿：中国語（画数順）、日本語（五十音順）、英語（アルファベット順）とする。
- B. 専門書：著者あるいは編者、出版年代、書名、版次、出版地、出版社、ページ数の順によって排列すること。
- C. 論文：著者、出版年代、論文名、掲載書名、巻号数、出版地、出版社、ページ数の順によって排列すること。
- D. 論文集：専門書の書式に倣って排列すること。
- E. 列举形式：論文本文中で実際に引用された文献のみ、参考文献に記載できる。論文本文において引用されていない文献は参考文献として列举する必要はない。

台湾日語教育学報論文査読結果認定一覧表

第二査読者 第一査読者	採択	修正後採択	不採択
採択	採択	採択	第三査読者に提出
修正後採択	採択	採択	第三査読者に提出
不採択	第三査読者に提出	第三査読者に提出	不採択

お問い合わせ：
台湾日語教育学会事務局
251301 新北市淡水区英専路 151 号 淡江大学村上春樹研究センター
E-Mail：taiwanjapanese.url.tw@gmail.com
HP URL：http://www.taiwanjapanese.url.tw/index.htm